

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ・教授
氏名 Name	清水政明
専門分野 Academic Field	ベトナム語音韻史・ベトナム語教育

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ベトナム語の史的研究				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>1. 国立成功大学越南研究中心（台湾台南市）にて、①ベトナムの古文字チュノムに関する研究を行う。特に、仏教経典『父母恩重経』のチュノム翻訳版の分析、同一経典の台湾における受容と実践との比較を通して、チュノム翻訳版成立の事情についても考察する。②ベトナム南部方言のデータを整理し、北部方言との比較を通じて、その形成過程における閩南語（台湾語を含む）の関与を音韻史の観点から明らかにする。</p> <p>2. 科研基盤研究（C）「ウェブを利用したベトナム語習得度試験システム開発のための基礎的研究」（研究代表者：大阪大学・清水政明）の下、引き続きシステム開発を行う。</p> <p>3. 科研基盤研究（B）「ベトナム東北部諸言語に見られる借用漢語音の研究」（研究代表者：東京大学・吉川雅之）の下、引き続きベトナムバクカン省タイー族の言語における借用漢語音について調査を行う。</p> <p>4. 慶應義塾大学言語文化研究所共同研究員として「漢喃資料『條律』の読解」、「東南アジア諸言語研究会」に参加する。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学関連 (中国語)	日本語学関連 (漢字音)	日本語教育関連 (音韻)	外国語教育関連 (中国語)	アジア史関連 (ベトナム)
キーワード Keywords*2	ベトナム語	チュノム	南部方言	借用漢語音	習得度試験